

大きなイモ、
収穫したよ！



ここに
注目!!

新型コロナウイルス感染症対策など審議

令和4年第3回定例会が9月6日に行われ、条例の制定や各会計補正予算、人事案件など、提案された案件を審議し、全て原案通り可決しました。

また、7人の議員が一般質問を行い、さまざまな観点から町政に問いかけました。



新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業や町道除雪対策など補正可決

補正予算

専決処分の承認

- ◇海岸漂着物緊急対策事業 280万5千円（全額一般財源）
サケ定置網漁が始まる前に、低気圧による風雨の影響で海岸線全域に漂着した大量の流木を陸側へ移動する等、再流出防止策を早期に講ずるもの。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業

- | | |
|---|---|
| <p>◇江差町公共交通事業者緊急経済対策支援事業 300万円（全額国庫支出金）
コロナ禍において厳しい経営状況となっている町内公共交通事業者に対し、地域公共交通の維持確保の一助として、保有台数に応じた支援金を支給するもの。</p> <p>◇認定こども園感染対策物品補助事業 62万7千円（全額国庫支出金）
昼食時の密を回避するための園児用テーブル、イスを整備するため、認定こども園江差幼稚園に補助するもの。</p> | <p>◇感染予防対策物品購入事業 364万2千円（全額国庫支出金）
高齢者施設等での感染拡大時に備え、抗原検査キットやフェイスシールドなどの感染防止物品を整備するもの。</p> <p>◇事業活動継続緊急支援金給付事業 850万円（全額国庫支出金）
北海道が実施する「道内事業者等事業継続緊急支援金支援事業」の支給決定を受けた町内法人又は個人を対象に、事業活動の継続と経営の安定化を図ることを目的とする支援金を支給するもの。</p> |
|---|---|

一般事業

- | | |
|---|---|
| <p>◇役場庁舎空調機用塩害除去フィルター等交換 62万7千円（全額一般財源）</p> <p>◇町有大型車両庫車庫オーバースライダー改修工事 181万5千円（全額一般財源）</p> <p>◇北の江の島構想推進
（その他特定財源等から道支出金へ財源更正）</p> <p>◇相続財産管理人選任申立て 50万6千円（全額一般財源）
相続人がおらず、葬祭や財産管理を行う親族もいない町民の、未払い医療費等及び不動産の処分をするため、民法に規定する申立てを行うもの。</p> <p>◇令和3年度各種補助金等精算に係る国・道への返還（13事業） 1,931万4千円（全額一般財源）</p> <p>◇国民健康保険費特別会計繰出金（マイナンバーカードの健康保険証利用申込み支援事業分） 14万3千円（全額一般財源）</p> <p>◇後期高齢者医療特別会計繰出金（マイナンバーカードの健康保険証利用申込み支援事業分） 5万2千円（全額一般財源）</p> | <p>◇権利擁護事業費 （一般財源から道支出金へ財源更正）</p> <p>◇障害者自立支援給付審査支払等システム改修事業 46万2千円（国庫支出金・一般財源）</p> <p>◇母子保健事業（幼児視力検査機器導入） 137万5千円（全額一般財源）
町が実施する3歳半健診の際に、弱視や遠視の危険因子を検知できる機器を導入し、早期発見、治療へ繋げるためのもの。</p> <p>◇檜山地域人材開発センター宿泊棟雨漏り修繕 60万円（全額一般財源）</p> <p>◇スマート農業推進事業 85万円（全額一般財源）
農業用ドローンの導入により、防除する際の大規模な作業時間の短縮と労力の軽減につながることから、操作方法等の受講費用について2分の1以内を助成するもの。</p> <p>◇東山2号林道排水施設維持管理 54万4千円（全額その他特定財源）</p> |
|---|---|

補正予算

一般事業(続き)

- ◇地場産材利活用推進事業
168万3千円(全額その他特定財源)
田沢地区の桐の伐採、製材を通じて木工材等への発揚を図るためのもの。
- ◇藻場造成試験事業
22万円(全額一般財源)
ひやま漁業協同組合への補助を通じ、藻場衰退要因を検証するための単管礁をかもめ島五郎平浜前に設置するもの。
- ◇かもめ島樹木伐採・剪定委託業務
95万1千円(全額一般財源)
- ◇町道除雪対策
4,889万8千円(全額一般財源)
- ◇行政組合分担金(消防指令者購入)
857万7千円(地方債・一般財源)
- ◇行政組合分担金(サイレン吹鳴制御装置親局更新)
242万円(全額一般財源)
- ◇行政組合分担金(防火水槽補修工事)
107万7千円(全額一般財源)
- ◇学習支援用スキー用具整備
183万4千円(その他特定財源・一般財源)
- ◇運動公園野球場1・3塁連絡通路屋根改修工事
506万円(全額一般財源)
- ◇生涯スポーツ推進(スポーツ少年団活動補助)
100万円(全額その他特定財源)
- ◇文化会館電話装置取替工事
146万6千円(全額一般財源)

人事

- ◇人権擁護委員候補者の推薦(再任)

かが すすむ
加賀 晋 氏
(新栄町・63歳)



- ◇教育委員会委員の任命(再任)

おがさわら としふみ
小笠原 敏文 氏
(本町・49歳)



- ◇監査委員の任命(再任)

こんどう いき
近藤 偉喜 氏
(緑丘・74歳)



- ◇副町長の任命(再任)

たばた あきら
田畑 明 氏
(南が丘・63歳)



- ◇教育委員会教育長の任命(新任)

でさき ゆうじ
出崎 雄司 氏
(上野町・56歳)



その他

◎健全化判断比率等の報告

- ・実質公債費率 14.2%
前年度に比べ1.4ポイント改善しており、早期健全化基準である25.0%を下回っている。
- ・将来負担比率 56.2%
前年度に比べ2.6ポイント改善しており、早期健全化基準である350.0%を下回っている。

◎決算認定

令和3年度一般会計歳入歳出決算ほか8会計については、閉会後に開催される「各会計決算審査特別委員会」に付託。

◎財産の減額貸付について

旧江差町営レストラン施設の利活用を図るため、普通財産を減額して貸し付ける目的、条件、適用期間などを定めたもの。

第3回定例会 行政報告



次のとおり、町長が行政報告しました。

1 新型コロナウイルスワクチン接種について

4回目の集団接種を7月30日から開始した。

9月4日現在の当町の全体接種率は、1回目が88.3%、2回目が88.1%、3回目が80.5%、4回目が22.5%となっている。

2 災害時における協力協定の締結について

ヤフー株式会社と「災害に係る情報発信等に関する協定」を締結。

災害発生時の自治体対応を情報発信面から支援いただくもので、町公式ホームページへのアクセス集中負荷軽減のため、ヤフーサーバー上に保存される「キャッシュサイト」を表示することや、「ヤフージャパンアプリ」及び「ヤフー防災速報アプリ」で町独自の防災・災害情報を配信することが可能になる。

現在、運用に向けて準備中である。

3 江差町とヤマト運輸株式会社との包括連携協定に関する協定書の締結について

両者がそれぞれの資源を有効に活用し、安全・安心な地域づくりをはじめ、災害対策、環境維持・保全、地域福祉事業などにおいて、協働して取り組むことを目的としている。

4 寄付採納について

◇合同会社 ユーラスエナジーホイルディングス

職務執行者 高瀬 達秀 様

現金160万円

◇株式会社 北辰運輸 代表取締役 矢原 幸康 様

現金100万円

◎行政報告の前に、町政3期目4年間の所信表明も行われました。

(要旨)

1. 3つの重点プロジェクトを複合させたまちづくりの推進
2. 子育て・教育環境の充実
3. 「不幸ゼロのまち」のさらなる推進
4. 次代を創る産業の確立
5. 地域資源である「風」を活かすゼロカーボンシティ
6. 住民への情報伝達

一般質問 七議員が町政を問う

議員にとって「一般質問」は、議場という公の場で、町長や教育長に対して町政運営の考え方や将来に対する方針を質することができる唯一の場です。

◆質問は要約されています◆

議会だよりのスペースの都合上、質問・答弁は要約したものを載せています。

◆表示の説明◆

文中の(再)はそれぞれ再質問、再再質問を表します。



飯田 隆一 議員 (無党派)

9月定例会 一般質問

新型コロナウイルス不安解消を 答 道に要請し解消に努める

抗原検査キットは、一定程度、町が保有し、相談体制を図るべきと考えるが如何か。

発熱外来やPCR検査所は、2、3日繋がらないという状況も散見される。PCR検査所をさらに拡大し、感染不安の解消に努めるべきと考えるが如何か。

町長 抗原検査キットを町が保有し町民へ配布する場合、薬剤師の配置が必要なこと、難しいと判断している。

検査所の拡大について、道は、感染不安を感じる無症状の方を対象として、感染拡大傾向の一般検査を無料で実施しており、道の感染状況に応じて、実施期間が9月30日まで延長になった。

江差町内では3か所が予約制で行っており、以前よりは解消されるものと考えているが、道の検査体制の充実、実施期間の更なる延長等を要請し、町民の不安解消に努める。

室内遊戯施設設置場所の再考を 答 対策を講じ整備に努めたい

北海道は、日本・千島海溝地震の被害想定を公表した。江差町について伺いたい。

北の江の島構想にある子ども向け室内遊戯施設は、災害を想定した場合、あの場所に施設を作ることは、相当危険を伴うものだと考える。再考すべきと考えるが如何か。

町長 道の公表した資料に江差町の被害想定が記述が無いので、今の対応も今のところ想定していない。

施設は、津波災害避難マップでは、建設予定地の津波水位が3、5メートルと想定されており、津波災害が起これることを念頭に、設計段階で専門家の意見も聞きながら対策を講じ整備に努めたい。

再 遊戯施設は、幼児や小学校低学年を対象にした施設で、危険を承知である場所に建てること自体が適切を欠くと思うが如何か。

町長 どう安全に施設を考えていくのか、町の活性化を考えていくのか、どう両立していくのかを考えた上で構想を練り上げている。

3月議会において、実施計画を含めた委託費2,093万3千円計上している。

速やかな建設に向けた予算執行を願うものであるが、町長の決意を伺いたい。

また、中学生によるアンケートや意見交換の結果がどのように建設計画に反映されるのか。

後の対応も今のところ想定していない。

施設は、津波災害避難マップでは、建設予定地の津波水位が3、5メートルと想定されており、津波災害が起これることを念頭に、設計段階で専門家の意見も聞きながら対策を講じ整備に努めたい。

再 町長も所信表明で述べている。責任ある答弁を。

町長 どう安全に施設を考えていくのか、町の活性化を考えていくのか、どう両立していくのかを考えた上で構想を練り上げている。

3月議会において、実施計画を含めた委託費2,093万3千円計上している。

速やかな建設に向けた予算執行を願うものであるが、町長の決意を伺いたい。

また、中学生によるアンケートや意見交換の結果がどのように建設計画に反映されるのか。

基本計画及び基本設計の策定及び実施設計業務を進めながら、令和5年度中の建設着手を目指す。



旧江光ビル跡地



眞議員(無党派)

塚本

9月定例会 一般質問

6月末の大雨を踏まえた今後の対応は 答 課題や反省点を集約

これまで経験の無い降水量等(6月末)により、厚沢部川水位が氾濫危険水位に達したことから、流域の皆さんに避難指示が出され、農作物への冠水等の被害は一部であったが、人的被害は幸いにも無かった。

避難指示の翌日早朝には解除となったが、対策本部設置の遅れや避難場所の変更、避難場所の対応、避難者数などに多くの課題が見えて来たと思っている。

今回の経験を踏まえて今後に向け、津波だけでなく、大雨による水害予防対策もしっかりと進める必要があると考えている。町の対応を伺いたい。

町長 大雨や河川の状態、町の対応などについては、様々な課題が浮き彫りとなり、反省点も少なくなかった。町として、どのような課題や反省点があったかなどを、対策本部はもとより、従事した

職員から集約をしており、今後、それらを検証しながら課題解決に努めたいと取り組んでいる。

また、江差町地域防災計画の見直しを進めている中で、取りまとめた課題に対する対応をしっかりと進め、見直し後の計画に書き込めることができるよう努める。



道立江差高校体育館に設置された避難所

ヒグマの実態把握に無人カメラを 答 慎重に検討を重ねたい

年々、ヒグマの出没が増えて、大きな課題となっている。

檻による捕獲が成果を上げているのは認識しているが、町民や業者の不安の解消には、至っていない。

ヒグマの行動実態を把握するため、過去に出没した箇所等に無人

マグロ漁獲枠拡大を 答 行政として行動を検討

スルメイカ漁獲量が極端に少なくなっており、非常に危惧をしている。

原因は、資源の減少や海水温の変化など多岐にわたると思われるが、漁場でマグロの大量がいて、漁の妨げになっているということも伺っている。

逆にこれらのマグロの対策として、檜山エリアのマグロ漁の枠の拡大に向けて、行政も一丸になってマグロによる漁業者の所得補完できるように対策ができないか。

カメラを設置して、ヒグマの駆除や被害防止対策に有効活用してはどうか。

町長 江差町においても、ヒグマの目撃や痕跡が年々増加傾向にあり、町内会を通じて注意喚起のチラシを配布や町ホームページ、公式LINEを活用し町

町長 イカ漁を主とする漁業者にあつては、苦しい経営環境にあるものと推察している。

マグロによる漁業被害は、集魚灯に引き寄せられたマグロによりイカが散るように逃げたしまし、マグロに釣り針が壊されたなどの声が寄せられている。ひやま漁協では本年度より、被害の実態を把握することを目的に、各イカ釣り漁業者に被害状況を記録する日誌を携行させ、これらの取りまとめをもって、

民に情報提供するなど、被害の未然防止に努めている。

カメラ設置は、町の有害鳥獣実施隊員などと議論してみたい。設置場所によってはプライバシーなどの問題も生じる可能性があることから、慎重に検討を重ねたい。

北海道などの関係機関とその対応協議を行うこととしている。

2015年からマグロは国際管理下のもとで日本の漁獲枠が設定され、漁業法等に基づき各都道府県に、さらに道が道内各地区に漁獲枠を配分するといった重層的な仕組みとなっている。

新たな主力魚種とするには、一定の枠の確保が必要であり、行政として執れる行動の身を検討して参りたい。



大門 和幸 議員 (無党派)

9月定例会 一般質問

かもめ島にWiFi設置を 費用対効果も含め検討

最近、WiFi環境の整っているキャンプ場が増えてきている。テレワークの導入が進む中で、ネット環境があればキャンプ場で仕事をすることもできる。

また、キャンプ場での時間を気にせず、自然の中で、のんびりYouTubeや映画鑑賞が出来るなど新しいキャンプスタイルが楽しめるようになると思うが、今後、かもめ島キャンプ場にWiFi設置など検討されているのか伺いたい。

町長 まず、現時点におけるかもめ島のWiFi環境だが、昨年度、島上に整備したマリニングのテント施設にWiFi環境を完備し、アクセスパスワードを入力することで使用が可能となっている。
また、手ぶらでキャンプの利用者についても、希望があれば、そ

のアクセスパスワードをお知らせし、使用いただけるが、WiFiを受信できる範囲は限られている。
なお、これまでに手ぶらでキャンプ利用者からWiFi利用に関する問い合わせはいただいていない。

島上におけるWiFi環境は、基本的にこのマリニングテントを利用しての方のみとなっており、一般の方々が無償で散策やキャンプをされる場合には、WiFiをご利用いただけない状況となっている。

そのような中で、一般の島上利用者にもWiFiを利用いただく方法としては、島上に別途複数のルーターを整備する方法が考えられるが、環境整備に係る初期投資や毎月の利用料金などの費用が発生することとなる。
仮に、かもめ島上

のステージ前から島上トイレまでの広場一帯をカバーできる環境を整備するとした場合、ステージに高性能なルーターを2基ほど整備する必要があり、初期整備費用としては概算で70万円程度、年間の利用料金で15万円程度の費用が発生する見込みとなっている。

かもめ島の更なる魅力向上に向け、WiFi環境を整備することも効果的な施策の一つと認識している。費用対効果も含め、検討させていただきたい。



かもめ島上キャンプ場広場



出崎 太郎 議員 (無党派)

9月定例会 一般質問

児童公園の追加配置を

答 現状において難しい

先ごろ公表された公共施設等長寿寿命化計画の中で、公園遊具施設の実態が明らかにされた。

対象7か所の公園は総じて老朽化が進み、撤去検討対象施設も少なくない。

空き家解体後の空き地等取得し、住民の身近な位置に児童公園を追加配置整備する考えはないか。

第6次総合計画では北部地区に安全に子どもたちが遊べる土地の確保を検討することになってはいるが、集落ごとに確保を検討すると考えてよいか。

多くの都市には公園緑地課がある。維持管理体制確立のために、せめて公園緑地の係を置いて対応すべきではないか。

町長 江差町公共施設等長寿寿命化計画公園遊具施設編では、老朽化が進む公園について、予算の平準化を通じて

維持管理する旨の説明を行ったところであり、同様に町の総合計画における成果指標としても、既存の公園を維持することを目標値としている。

一方で、少子高齢化と人口減少に対応した公共施設の適正な配置を図ることは、今後検討すべき大きな課題と捉えている。

この様な状況において、空き家解体後の用地を取得し、新たな児童公園を整備するという考えは、現状では難しいと考えている。

現在、北部地域で、子どもが遊ぶための一定程度の広さと遊具がある場所としては、江差北小学校前となる。

従来、朝日、柳崎両児童館前広場や越前神社前広場などに遊具を配置していたが、遊具の老朽化により撤去した状況となっている。

北部地区の子どもたちが遊ぶ土地の確保は、

集落を単位とするものではなく、児童生徒数が減少している状況を十分踏まえて検討すべきものと考えている。

現在、公園の維持管理については、4月から10月まで、財政課及び社会教育課で公園管理人を配置し、清掃、草刈、施設の状況確認などを行っている。

また、九艘川公園は、建設水道課で地域住民を交えた公園の魅力づくりの取組を複数年間に渡って行っている。

江差町の現状を見ると、更なる人口減少と少子高齢化が見込まれており、複雑多様化する行政要望への対応や行政運営の効率化を図ることは必要不可欠なものとして認識しており、公園緑地を専門とする部署の創設については、考えていないが、引き続き、関係部署や団体等との連携のもと、公園等の維持管理に努めて参りたい。

係については、業務でも構わないと思う。例えば、都市計画係で公園緑地も兼務など。公園緑地は、最近、まちづくりの基幹的な施設になってきているので、公園整備は、身近なコミュニケーションの場として、必要ではないかと思う。

今、住民が身近で利用できる児童公園は、茂尻児童公園1か所しかない。

都市緑地の九艘川公園を、今後の整備によつては、児童公園的な開発はできるかと思うが、いかにも少ない。

長期的展望に立つて、そういう用地が発生した時にチャンス逃がさないような配慮が必要かと思うが如何か。

財政課長 現状においても、何かあるごとに情報共有を図りつつ協議を行い、対処している。

兼務発令ということではなく、従来どおり、

関係各課の情報連携を密にしながら対処を考えている。

児童公園の用地については、現状においても町が管理する空き地というのは、相当数ある。



茂尻児童公園



西海谷 望 議員 (無党派)

9月定例会 一般質問

マリンスノーのルール作りを 答 利用者の安全安心に努める

かもめ島前浜、えびす浜は、夏になると、海水浴をはじめ、多くの方々がマリンスノーを楽しんでいる。しかし、海水浴場と同一海水面でジェットスキーやSUP等が行われている状況で、遊泳者の方々も危険と感じることがあると聞いている。

利用者相互が安全で安心して楽しんでいただけるよう、事故防止のための規制、またはルール作りが必要と思うが如何か。
道の駅繁次郎の駐車場では、時期になると、海岸でキャンプやジェットスキー等をする方々の駐車場となり、道の駅利用者に変な変更をかけている。
解決に向けた対策が必要と思うが如何か。
町長 かもめ島周辺では、北海道江差観光みらい機構が事業を実施し、町が開設する海水浴場なども併せ、マリンスノー等で賑わい

を見せている。

近年、マリンスノーの迷惑行為や事故などが増加傾向にあり、北海道でも事故等を未然に防ぐ目的として、条例が施行されている。

町では毎年、道に海水浴場開設の届け出を行い、指導要綱に基づき運営を行ってきたが、要綱にも、遊泳区域内にはモーターボートや水上オートバイ等乗り入れないことと規定されており、看板表示や監視員による啓発等を通じ、利用者が安全で安心して楽しめる環



かもめ島えびす浜海水浴場

境づくりに一層努める。道の駅駐車場は、道路利用者が24時間いつでも利用できる駐車場休憩施設という位置づけになっている。

キャンプやジェット

ふるさと納税目標達成の取り組みは ポータルサイト増や広告で

ふるさと応援寄付金目標2億円、令和4年度は1.5億円を目指すとしている。

目標達成のための取り組みの現状と今後の見通しを伺いたい。

町長 8月31日までの寄附額は、対前年比で2.4倍となっている。前年度の寄附総額が7,559万8千円なので、単純に推計した場合、今年度寄附額は1億5千万円以上となる。

しかし、ご寄附いただく皆様は11月から12月に集中し、昨年度は寄附額全体の51%がこの2か月間だったので、当該期間でどれだけの

スキー等をする方々を特定しての駐車制限は難しいが、道路敷地に長時間駐車しているケースなどは、江差警察署と連携のもと、対応を協議している。

皆様にご寄附いただけるかがカギとなる。目標達成のための取り組みとしては、ふるさと納税返礼品を取り扱うポータルサイトの増、ふるさと納税に興味のある方々が目にする媒体に絞り込みながら広告の掲出、業務をやりきるための人材の確保で、4月から会計年度職員を2名体制とした。

ふるさと納税の寄附額を高める目的は、町の歳入増だけではなく、江差で事業されている方々の所得向上もその一つである。
1人でも多くの事業者がふるさと納税に興

味を持っていただき、返礼品事業者としてチャレンジしていただきながら、生きがいづくりと所得の向上につなげていただけるよう、新規事業者募集も併せて力を入れたい。
再 私は、返礼品の拡充支援が一番肝なのかなと思っている。

加工品として出品しなくても、地元で加工できる業者が少ない、小規模で設備が十分でない、という問題があるのではないかと。

地元でしっかりと二次加工できる体制を作る、早急な支援策を検討するべきではないか。
まちづくり推進課長 返礼品を扱って下さる事業者も、資金的に厳しい部分がある。そういうところをまず支援しながら、事業者の自信に繋げてきたい。

町民の中からチャレンジしたいという方がおられたら、町としてしっかり支援していく体制は、今後作ってきたい。

定例会
議案審議
行政報告
一般質問
委員会
臨時会



小野寺 真 議員 (日本共産党)

9月定例会 一般質問

子育て支援の新年度実現を 関係各課で議論積み上げて

答 子育て世帯に対する住宅新築、中古住宅購入、増改築への財政的支援は、新年度事業として是非とも実現していただきたい。

併せて、住宅リフォーム事業も継続を。
町長 子育て世帯の負担軽減を図るとともに、移住、定住対策促進の視点からも、施策のひ

避難指示の伝達手段は 緊急速報メールやLINEで

答 今回の大雨で、どのような手段で避難指示を周知したのか。

局所的に心配なところも見られたが、過去最高の雨量なども想定した道路側溝等の対策が必要でないか。

町長 避難指示は、北海道防災情報システムを通じ、町内の全携帯電話に緊急速報メールを発信、町公式LINEでも発信した。
高齢者等避難の発令は、各町内会長、民生委員への連絡とケアマ

とつとして掲げた。今後、具体的な制度設計や施行時期など、関係各課で議論を積み上げたうえで示したい。現在実施している住宅リフォームは、今後の需要見込みや地域の経済状況、財源の確保など総合的に見極めながら判断したい。

ネーチャーに協力要請し、早めの避難を呼び掛けた。

避難指示を出した4区域には、職員が全戸にチラシを配布した。道路排水は、これまでも断面の大きな排水溝へ取り替えや横断側溝の設置、排水ルート

の分散など改善を図ってきた。
今後、これまで以上に防災担当と連携強化しながら、住民への情報提供や道路パトロールなど現状把握に努め、

森林経営管理法の動きは 今後5年間で意向調査

森林経営管理法にある、民有林の調査について進捗状況を伺いたい。

建設水道課長 平成27年から7年間で延べ535件、45社で事業実績がある。受注件数が最も多いのが建築業者で全体の45%程度、その次に塗装業者が32%程度で、その多くが小規模事業者である。

町有林で、桐の木を使って活用事業が提案されている。同じように伐期齢に達している樹木があると思うが、活用方法についてお聞きしたい。

町長 森林所有者への意向調査の対象者数は262件で、調査期間を5か年としている。

昨年、森林経営管理計画未策定者の抽出を行い、本年度からアンケート調査を始める。町では令和3年度から地域林政アドバイザリー業務を檜山南部森林組合に委託し、町有林管理業務の助言等を受けている。

本年度から地場の桐材を活用した、誕生記念品の進呈事業をスタートさせた。今後も地場産の間伐材の活用に向け取り組みたい。



誕生記念品に使われている桐の木工作品

再 森林の経営管理を、森林組合とどのように進めて行こうとしているのか。現在の林政アドバイザリーの配置で、十分専門性も果たせるか。

産業振興課長 まずは対象者にアンケートを送付し、回答を分析しなければならぬ。

今後5年間で回答が来るので、それぞれの個別カルテのようなものを作って、補助金についても説明したい。



小林くにこ 議員 (日本共産党)

9月定例会 一般質問

現在の道の駅の位置付けは

答 今後、あり方を検討

町長の所信表明で、江差海の駅に町内2つ目の道の駅を併設すると述べており、実現が近づいてきた。

現在の「道の駅江差」をどのように位置付けるのか。具体的な構想を伺いたい。

町長 「道の駅江差」は平成5年4月に、道内での道の駅が整備された初年度に登録されたもので、整備当時の道の駅機能は「観光案内、24時間トイレ、一定の駐車スペース」であり、江差中心市街地への玄関口ともいえる当該地域に整備された。

道の駅整備とあいまって、ドライバーや観光客の立ち寄り場所が必要との考えから、当該地域住民の協力もいただきながら、江戸時代に実在したと言いつた「繁次郎」像を道の駅敷地内に建立したものであり、その後、施設が小さいことを逆手に取り、「自

称日本一小さな道の駅」として、クラウドファンディングでの寄付を集めながら、平成31年4月にリニューアルし、日本海を間近に感じる道の駅の魅力向上に大きく貢献してきたものと認識している。こうした背景を踏まえ、令和4年3月に策定した、北の江の島拠点施設整備基本構想でも、現、道の駅活用の方針として、「今後、新たな道の駅施設が整備された場合にあって、現、道の駅は、ドライバーをはじめ観光客などが江差市街地に入るエントランスとしての役割を担っていく場所として存続できるように国と協議している。」と記載している。

再 道は、新たな道の駅施設整備に向け、具体的な機能設計を協議していくことになるので、そうした協議の中で、現在の道の駅の施設運営のあり方を検討していくこととなる。



道の駅江差リニューアルの前(右)と後(左)

で、入店から決済までスマートフォンによるアプリで行うことができる、無人の道の駅がオープンすることは承知している。

(仮称)教育支援金の実施時期は

答 3期4年間で

町長の所信表明で、(仮称)教育支援金について触れていた。

「支援してまいります」とのこと、かなり内容は煮詰まっているのか。現時点での考え、新年度実施なのか、スケジュールをお聞きしたい。

また、江差で生まれ育った、となぜ限定するのか。引越してきても、それから永住するかも知れない。

町長就任当時から掲げておられた関係人口の拡充、Uターン者の拡充など、2、3年で転居するかもしれない道職員など想定して江差町で生まれ育ったと限定しているのかも知れないが、江差の子育て支援、子どもと江差で楽しく暮らせた、大変

追分観光課長 現在、千葉県の子川市など

今後、新たな道の駅の施設整備を進めて行くことに合せて、現在の道の駅の機能についても内部で協議を進めてまいりたい。

してもらうことで、関係人口の増加や、第2の故郷江差とあって足を向けていただけ、将来に生きる施策になるのではないかと思うが、お考えを伺いたい。

町長 教育支援金については、町内で生まれ育った児童が小学校入学時に、第1子では20万円、第2子に30万円、第3子以降には60万円を支給することで私の公約並びに所信表明をさせていた。3期目4年間のうちの表明である。

具体的な制度設計や実施時期、財政的なものも含め、これから担当所管課と協議検討する。

議員のご提言も参考としつつ制度設計してまいりたい。

定例会
議案審議
行政報告
一般質問
委員会
臨時会

意見書を提出

9月定例会では2件の意見書を提出、いずれも可決し、関係行政機関へ送付しました。

《可決》

- ◆道教委「これからの高校づくりに関する指針」を抜本的に見直しすべての子どもにゆたかな学びを
保証する高校教育を求める意見書
- ◆国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

出欠状況をお知らせします！

令和4年7月1日から9月30日の出欠状況です。斜線部分は出席する必要のない会議です。

会議名	会議日	総務産業常任委員会						社会文教常任委員会					議長
		小梅 洋子(委)	小林 くにこ(副)	飯田 隆一	室井 正行	塚本 眞	大門 和幸	小野寺 真(委)	出崎 太郎(副)	薄木 晴午	西海谷 望	萩原 徹	
第3回定例会	9月6日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第5回臨時会	7月27日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
全員協議会	7月27日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	8月24日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9月6日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務産業 常任委員会	7月14日	○	○	○	○	○	○	/	/	/	/	/	/
	9月6日	○	○	○	○	○	○	/	/	/	/	/	/
社会文教 常任委員会	7月4日	/	/	/	/	/	/	○	○	○	○	○	/
	7月22日	/	/	/	/	/	/	○	○	○	○	○	/
議会広報 特別委員会	7月8日	/	○	/	/	○	○	/	○	/	○	/	/
	7月15日	/	○	/	/	○	○	/	○	/	○	/	/
	7月22日	/	○	/	/	○	○	/	○	/	○	/	/
決算審査 特別委員会	9月6日	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
議会運営委員会	7月27日	/	/	○	○	○	/	○	/	/	○	/	○
	8月24日	/	/	○	○	○	/	○	/	/	○	/	○
	8月29日	/	/	○	○	○	/	○	/	/	○	/	○

○：出席 ▲：欠席（公務） ●：欠席（傷病・出産・育児・看護・介護・私用）

研修に参加しました

10月18日、北斗市総合文化センター かなで〜るを会場に、渡島檜山管内の議員研修会が行われ、当町から4人の議員が出席しました。

研修会では、北海道建設業協会 副会長の栗田 悟氏が「第2青函トンネル構想について」、札幌市防災協会 防災・危機管理専門官の細川正彦氏が「防災・危機管理について」の演題で、それぞれ講演されました。



臨時議会

7月27日に第5回臨時議会が行なわれ、一般会計の補正について審議し、原案どおり承認または可決して閉会しました。内容は次のとおりです。

〔第5回臨時議会〕

〔一般会計補正予算〕

◎専決処分

◇住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金 2,622万8千円

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、速やかに生活・暮らしの支援を行う観点から、住民税非課税世帯等に対して1世帯あたり10万円を支給。※令和3年度受給世帯を除く。

◇低所得子育て世帯給付金支給事業（ひとり親以外）及び北海道低所得子育て世帯給付金支給事業（ひとり親以外） 219万5千円

食費等の物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から、給付金を支給。※ひとり親世帯の給付受給者を除く。

◇6月大雨・洪水災害対応 144万3千円

◎新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業

◇園児副食費無償化事業 126万円

私立認定こども園や認可外保育施設等を利用する満3歳以上児について、保護者の委任を受け、利用施設へ副食費無償化相当分を支給。（期間：本年8月から令和5年3月まで）

◇地域の祭り文化活動支援事業 66万円

各町内で保存伝承されている祭りばやしや山車の運行、人形展示など、何らかの取り組みを行う場合に限って、江差観光コンベンション協会を通じ、各山車へ感染予防対策費用3万円を助成。

◇江差ふるさと盆踊り伝承事業 146万5千円

例年、江差追分会館駐車場で開催していたふるさと盆踊りについて、より広い開陽丸の駐車場で開催するための音響費や電気工事費、装飾費用等を、実施主体の江差町民芸団体連絡協議会へ補助。

◇江差追分保存伝承事業 430万3千円

江差追分全国大会や江差追分セミナー、江差追分師匠会研修会を開催するための、消毒対策やインターネットライブ中継費、会場の借上げなどの費用を江差追分会に補助。



第58回江差追分全国大会優勝者 林久美子さん（札幌市）

◇給食費無償化事業

（小学校） 545万6千円
（中学校） 366万8千円

◎一般事業補正

◇町有地購入促進奨励金 150万円

◇江差町地域公共交通活性化協議会負担金事業 2,107万3千円

◇オンデマンドバス実証運行事業 504万4千円

昨年度より江差町地域公共交通計画の策定を進めている江差町地域公共交通活性化協議会に対する負担金として、オンデマンドバスの導入による地域公共交通及び地域経済の維持活性化を図る江差マースの実装化に向けた実証運行に要する事業費など。

◇園児給食費補助 113万4千円

◇常設保育所運営 113万4千円

◇新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業（4回目接種） 37万4千円

7月30日から始まる集団接種会場において、熱中症対策として、接種対象者や接種従事者へ飲料水等を配布。

◇豊かな前浜づくりプロジェクト 2,937万4千円

トラウトサーモンの海面養殖を推進するため、生け簀1基の製作、自動給餌機や水中カメラなどの設置、種苗費や事業などに要する費用を補助。

◇文化会館非常用発電機充電装置改修 123万7千円

文化会館の充電装置に不具合が生じ、発電機が停止する状況にあることから、充電装置の交換を行う経費。

議会の動き

- 7月4日 ◆社会文教常任委員会
7月6日 ◆北海道町村議会議員研修会（6名出席）
7月8日 ◆議会広報特別委員会
7月12日 ◆檜山広域行政組合議会臨時会
（小野寺議員・出崎議員）
7月14日 ◆総務産業常任委員会
7月15日 ◆議会広報特別委員会
7月22日 ◆議会広報特別委員会
7月27日 ◆議会運営委員会
◆全員協議会
・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について
・地域公共交通実証実験について
・豊かな前浜づくりプロジェクトについて
・旧江差町営レストラン施設の利活用について
◆第5回臨時会
7月29日 ◆江差町・上ノ国町学校給食組合議会定例会
（西海谷議員、大門議員）
-
- 8月10日 ◆道南地区林活議連現地研修会
（松前町：塚本議員出席）
8月16日 ◆江差町・上ノ国町学校給食センター落成式
8月24日 ◆議会運営委員会
◆全員協議会
・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について
・旧江光ビル跡地活用拠点施設基本計画及び基本設計策定委託業務の委託期間延長について
・江差町公共施設長寿命化計画の策定について
・「江差姥神町横山家」について
8月25日 ◆檜山管内定例議長会（議長）
8月29日 ◆議会運営委員会
-
- 9月6日 ◆全員協議会
・旧江差町営レストラン施設利活用事業公募型プロポーザルの結果について
◆第3回定例会
◆決算審査特別委員会
◆総務産業常任委員会
9月14日 ◆議員会清掃活動（9名出席）
9月15日 ◆佐之市法要（議長）
9月22日 ◆社会文教常任委員会
◆江差町・上ノ国町学校給食組合議会臨時会
（西海谷議員・大門議員）
◆南部松山衛生処理組合議会臨時会
（塚本議員・小林議員）

清掃活動を行いました ～江差町議会議員会～

江差追分全国大会を前に、9月14日、江差町議会議員会（塚本 眞 会長）が、かもめ島えびす浜の清掃活動を行いました。

当日は教育委員会の応援もいただきました。

江差を訪れる観光客や追分関係者の皆さんに気持ちよく過ごしていただきたいとの思いから、3年ぶりに実施しました。



「議会だより」200号発行に向けて

「議会だより」の発行も次号で200回となります。これを記念し、読者の皆様より、これまでの「議会だより」に対するご意見やご感想をお願いし、記事として掲載させていただくことにいたしました。

11月30日(水)を期限としておりますので、多くのご意見・ご感想をお待ちしております。

提出先は以下のとおりです。

FAX：0139-52-5333

mail：gikai-zimu@town.hiyama-esashi.lg.jp

今号の表紙

保育園児がサツマイモ掘り体験しました。

小さな手で土を掘り起こしていくと大きなサツマイモが次々と顔を出しました。

園児たちは大きくなったイモに驚きながら一つずついねいに掘り出し、収穫の喜びを感じているようでした。



（大門 和幸 議会広報特別委員会委員）

議会からのお願い 議会だより取材のため、議員が写真撮影に伺うことがあります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



この用紙は、原材料の一部に
道産間伐材を使用しています